

4.職種等	5.校種	6.職場実態をふまえた「学校の働き方改革」に関するご意見(200文字以内)	
1 教員	小学校	教員の数の確保ができておらず、定数より少ない状態で1年間過ごした年もあった。もう少し人が増えれば仕事も分担でき、働き方改革になるのではないかと思う。	匿名希望
2 教員	小学校	小規模校にも目を向けた取り組みをしてほしい。残業時間でなく、働き方改革の内容を評価してほしい。教育委員会から対応を迫られる管理職がとて大変そう。残業することでマイナス評価を受けるのはストレス。現実には持ち帰り業務をしている教員はたくさんいるのでそこにも目を向けて実態把握してほしい。	匿名希望
3 教員	高校	教員一人ひとりの業務が減らせるように、持ち時間数の削減や定数を増やしてほしい。	匿名希望
4 教員	小学校	教員の仕事が多すぎます。家庭や地域などに任せられる事もやっていて、それが当たり前のように思っている保護者、地域社会があります。同僚にも、子どもたちのためと言って無理な勤務を続けている方がいます。私達自身も含め、意識改革が必要です。本来やるべき仕事を厳選すべきです。	匿名希望
5 教員	小学校	教員の負担軽減だけでなく、事務職員の負担軽減(仕事量の削減)についても取り上げて欲しい。	匿名希望
6 事務職員	小学校	子供が小さくどうしても早く帰らなければならないので、持ち帰りの仕事があります。	匿名希望
7 教員	小学校	子どもがまだ小さいので残業は対してせず帰りますが、仕事がおわるわけではなく、子どもを預け、残業日を設けたり持ち帰りの仕事があつたりしています。その時間をトータルすると何時間にも渡ります。自己満足で時間を掛けているわけではありませんり仕事が終わらないのです。	匿名希望
8 教員	小学校	1人職なので、職務に負担がある。特にデータ入力などが普段。帰日も残業になっている。	匿名希望
9 養護教員	小学校	とりえず人手が足りていない。在籍している教員に何かあった時の穴埋めが難しく、児童の指導が手薄になる。	匿名希望
10 教員	小学校	正直なところ、働き方改革を推進しているとは言えない状況である。管理職からのお言葉もないし、早く帰ろうとする意識が低いと感じます。校務分掌の引き継ぎなども希薄で、新しく来た先生には辛いものがあります。	匿名希望
11 教員	小学校	たくさんの業務が学校に降り掛かって来ています。業務の精選をお願いしたいです。	匿名希望
12 養護教員	小学校	働き方改革により、削減された時間はあるものの、新たな問題への対応や内容を精選するための時間がかかるため、結局勤務時間はそれなりに長くなってしまいます。	匿名希望
13 教員	特別支援学	勤務時間外の労働時間の把握について。以前は学校と自宅持ち帰り両方を申告していたが、数年前から学校での勤務しか申告できなくなった。実際の労働時間を把握することを放棄しており、あまりにも残念である。	匿名希望
14 教員	小学校	特別支援学級の定数を減らしてほしい。不登校、登校しぶり対応も、特支での対応が増えているのが現状。もちろん、通常学級の定数も減らして欲しい。とにかく、人が圧倒的に足りない。それなのに、いじめ対応や、手厚い支援など、現場に課せられている課題は増える一方。	匿名希望
15 教員	中学校	少人数学校であるため、職員数が少ない。それにもかかわらず、職務は変わらないので1人あたりが背負う役職が多くなってる現状がある。	匿名希望
16 教員	小学校	休み時間を取らなければならないという意識が全くなく、その時間に会議や打ち合わせが普通に入る。始業時間より前に児童が来るので、門当番などは、必然的に早くこななければならない。それが何の不思議もなく当たり前に行われていることが、おかしい。	匿名希望
17 教員	小学校	働き方改革と言いながら、仕事は増えている現状。子どもも多様化している為、保護者とのやり取りに加え、事務的な仕事も単学級では、担任が基本的にやらざるを得ない。そこへ分掌の仕事も重なり、学級の子どもの関係の仕事に到達するまで時間がかかることもしばしばある状況である。、	匿名希望
18 教員	小学校	子どもたち一人一人に目が届くことで、学習指導面でも生徒指導面でも、残業時間が減ると思っています。学級の定数を減らしたり、支援学級の充実を図ったりしてほしいです。	匿名希望
19 教員	中学校	部活動については、練習指導や大会への引率は理解できるが、自チームが出場できない大会でも審判や役員で拘束される。自チームの練習も出来ない状況や専門外の種目では審判講習なども参加するのも負担である。(専門の種目でも)こういった負担を軽減するために大会運営や審判について外部委託していただきたい。	匿名希望
20 教員	小学校	社会も学校もすべての子どもたちの教育権の保障のために、合理的配慮の大切さが理解されるようになってきたことはとても良いことです。一律ではなく多様な教材を準備し多様な指導を行っています。8通りの教材を準備するには、8倍の時間と労力が必要なことは言うまでもないことなのに、その労力や人材の確保はありません。ですから、特別支援学級の担任がオーバーワークを強いられ、疲弊しています。	匿名希望